

巻頭言

小・中ジョイントプロジェクトの先に見えるものは
釧路市教育委員会 教育指導参事 大山 稔彦

昨年度延期になった教育講演会が7月23日（土）に予定されています。釧路市の教育が目指している秋田県大館市の高橋教育長さんを講師にお迎えして「一人たりとも置き去りにしない教育」について講話をお聞きすることができますので、多くの先生方の参加をお待ちしています。（追加の申し込みは可能です）

さて、釧路市に阿寒湖義務教育学校が開校し、新しい学校のあり方が見えてきました。これは制度上の利点だけではなく、義務教育の出口を知らなかった小学校の先生と入口を知らなかった中学校の先生が義務教育9年間について共通に理解し、共に子供一人一人の成長に責任をもつという良さが明らかになりました。

これまで「小学校と中学校の文化の違い」と言って互いに理解することなく過ごすことで、学びが分断され、支援が途切れ、子供の成長に悪い影響を与えかねない状況になっていました。この分断を解決するため「小・中ジョイントプロジェクト」があります。小中一貫校や義務教育学校の設置だけではなく、すべての小・中学校の先生方が義務教育9年間に責任をもつ取組が始まります。

まずは、互いに授業を見ることから始めましょう。学校教育指導（計画訪問）で互いに授業参観ができるようにしています。外国語教育アドバイザーの巡回指導でもお互いの授業参観の場を設定しています。平木先生のお話では、昨年度から小中連携を推進していた中学校の1年生の外国語科の授業が6年生の時のように楽しくてレベルの高い素晴らしい授業になっていたそうです。連携を活かした中学校の先生の素晴らしさが際立った事例です。そして、そこから一歩進んで「ジョイント授業」も始まります。

次に円滑な接続について話し合ひましょう。各中学校区に連携協議会を設置しました。その中に釧路市の課題である「学力」「不登校」「特別支援教育」の3つの部会を必置にして、小・中学校で課題の共有と解決の方策を話し合うこととなります。「小学校と中学校にどんな段差があるのか」、「段差を縮めるために小学校と中学校は何をするべきなのか」等々、互いに忌憚のない意見交換をしてください。すでに小学校3年生から中学校2年生まで釧路市標準学力検査の経年変化を個別に分析している事例や「登校しづり支援別表」を小・中学校で共有しようとしている事例もあります。

このような様々な取組を進める小・中ジョイントプロジェクトの先には、小学校の先生も中学校の先生も同じ目線で子供一人一人の9年間を見つめて、校種の壁のない9年間のカリキュラムが存在し、子供が必要な支援を9年間受けることができる釧路市の学校教育があります。

終わりに、校種間の壁も学校間の壁も障壁になりますが、そこに勤務する先生方の思いがあれば壁を乗り越えることができます。まずは連携の一步を踏み出しましょう。

■「釧路教育」第311号 contents■

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 巻頭言 | 教育指導参事(釧路教育研究センター所長)の巻頭言です。 |
| 2 研究グループの紹介 | 釧路教育研究センター研究グループ 今年度の活動紹介です。 |
| 3 釧路教育研究センター機構図 | 令和4年度釧路教育研究センターの運営体制の紹介です。 |

研究グループ 今年度の活動

釧路教育研究センターでは、北海道及び釧路市における教育目標と教育推進の具現のため、3つの研究専門委員会を設置し、実践的な研究・調査を進めています。各研究グループは、釧路市の教育充実を図るために日々活動しています。今回は各研究グループの活動について紹介いたします。

学習指導・開発研究グループ



学習指導・開発研究グループは釧路市内各校における学習指導上の課題を踏まえ、授業時に活用できる教材や指導資料の作成を推進し、その活用実践例を蓄積することで、学習指導の工夫・改善を図り、その成果を発信していくことを研究内容として取り組みます。

今年度は、昨年度より導入された Chromebook の活用について研究及び資料作成を行います。多様な子供たちを1人たりとも置き去りにすることなく、資質・能力を一層確実に育成する教育の実現につながるよう、『1人1台端末の活用による情報活用能力の育成』を研究テーマとし、どの学年で何をどこまで育成するかという基準を資

質・能力ベースで示す研究を進めていきます。先生方がこれまで培ってきた授業実践を土台とし、授業における1人1台端末の活用が、児童生徒の資質・能力の育成に効果的に働き、確かな学力が身に付いていく授業の在り方について、情報発信していきたいと考えております。また、年内にはミニ研修を実施し、成果報告とともに演習を行いたいと考えております。今年度より始まった新しい研究ですが、先生方の授業実践の一助となるように取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します。

学習指導・開発研究グループ委員 尾形 加奈子(芦野小学校)

担当講座	期 日	会 場
1人1台端末活用の充実（ミニ研修）	未 定	未 定

子ども支援研究グループ



今年度は、生徒指導研究専門委員会と特別支援研究専門委員会の2つの研究専門委員会が統合され、新たに「子ども支援研究グループ」として活動を開始しました。本グループでは、釧路市内各校における子ども支援に関する課題を踏まえ、いじめ、不登校への対応、個に応じた指導の進め方等について、調査、研究し、釧路市における子ども支援の在り方について、実践を蓄積しその成果を還元することを目指します。

今年度の研究のテーマは、「不登校の児童生徒への対応」としました。これは、全国的に長引くコロナ禍で、学校生活への不安を感じ、不登校になる小中学生が道内でも増加傾向にあり、釧路市においても令和2年度の不登校の児童生徒数が、令和元年度から97人増加し、389人と報告され、全児童生徒数の3.72%と高い割合となっている現状を打開したいという思いがあったからです。現在、不登校の児童生徒への対応について、校内支援体制の状況を交流しています。その中で、スクールカウンセラーによる相談活動の実態や、1人1台端末等のコミュニケーションツールの活用、ケース会議の実施方法などについて課題が出されました。今後は、不登校の児童生徒への効果的な対応のモデルや、校内支援体制の構築に向け、研究を進めていく予定です。

日頃より本研究グループの活動に際し、多くの皆様に多大なるご協力をいただき心から感謝いたします。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

子ども支援研究グループ委員 竹岡 良太(景雲中学校)

郷土読本・地域学習研究グループ



郷土読本・地域学習研究グループでは、小学校第3・4学年の社会科で活用する郷土読本『くしろ』の編集・改訂を中心に活動しています。

昨年度は、日本製紙釧路工場の閉場に伴い、3年生2単元の大幅な改訂を行いました。地域の実態に合わせた郷土読本の作成を今後も続けていきます。

また、一昨年度から取組を進めてきた学習プリントの作成ですが、昨年度、計画していたすべてのプリント作成を終えることができました。児童がより釧路に対する誇りや愛情を持てること、また授業

される先生方にとって使いやすいものとなるよう作業を進めました。

今年度は、引き続き郷土読本の部分改訂作業に取り組んでいきます。これまで学習で活用できるデータを「くしろ DVD」として各校に配付していましたが、GIGAスクール構想を踏まえ、ロイロノート資料箱にデータをアップしています。随時更新しておりますので、ご活用ください。

なお、昨年度より、釧路市教育委員会の網野貞則様に監修のご協力をいただいております。今年度も引き続き協力をお願いしております。

コロナ禍における学習活動の工夫が求められている昨今ですが、これまでの積み重ねを生かしながら、よりよい郷土読本『くしろ』が提供できるよう、今年度も研究グループ委員一同、活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

郷土読本・地域学習研究グループ委員 坂本 優一(美原小学校)

釧路教育研究センター「特別講演会」

『教育のイーハトーヴを求めて』

～ふるさとキャリア教育が奏でる“学びの交響学”～

講師 秋田県大館市教育委員会教育長 **高橋 善之 氏**

釧路教育研究センターでは、今年度、「ふるさとキャリア教育」を通して、子供たちのキャリア意識の向上に取り組んでおられる、秋田県大館市教育委員会教育長「高橋善之」氏にご講演いただきます。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- 日 時 令和4年7月23日(土)
13:30開演(13:00受付開始)
- 会 場 釧路市生涯学習センター まなぼっと幣舞大ホール
- 問い合わせ先 釧路市教育委員会教育支援課学校指導担当
0154-23-5189



研究センター 機構図



教育長
岡部 義孝

釧路教育研究センター
運営審議会

教育指導参事
大山 稔彦

学校教育部長
齋藤 優治

学校教育部次長(教育支援課長)・指導主事

 早坂 正俊 学校教育部次長 (教育支援課長)	 富田 直子 総括指導主事
 嶋山 和彦 指導主事	 渡部 潤 指導主事
 吉岡 康一朗 指導主事	 関本 裕介 指導主事
 柴田 題寛 指導主事	 佐藤 美里 指導主事

教育相談員

小関 としみ

武山 昇

研究グループリーダー

 早川 将光 (景雲中学校) 学習指導・開発 研究グループ担当	 大場 公博 (昭和小学校) 子ども支援 研究グループ担当	 北岡 知樹 (大楽毛小学校) 郷土読本・地域学習 研究グループ担当
---	---	--

学習指導・開発 研究グループ委員	子ども支援 研究グループ委員	郷土読本・地域学習 研究グループ委員
中村 萌子 (中央小学校)	石原 明香 (青葉小学校)	藤井 健史 (城山小学校)
尾形 加奈子 (芦野小学校)	柴田 浩子 (東雲小学校)	目黒 翔子 (鳥取小学校)
岡本 憲和 (春採中学校)	三守 絢子 (新陽小学校)	坂本 優一 (美原小学校)
松永 悠佑 (桜が丘中学校)	齋藤 政人 (幣舞中学校)	磯部 香里 (興津小学校)
	竹岡 良太 (景雲中学校)	
	高橋 円 (鳥取西中学校)	